

令和7年度 日本民間生薬検定試験問題【上級】 (2025年12月21日実施)

受験番号\_\_\_\_\_氏名\_\_\_\_\_

問1 写真で示した植物について、解答欄に植物名と科名を記入し、生薬名、利用部位、適用についてはそれぞれの用語欄から一つ選び記号を記入しなさい。2点×20 40点



用語欄

生薬名：ア) 淫羊藿、イ) 大蒜、ウ) 辛夷、エ) 苦参、オ) 黄蜀葵根、カ) 忍冬  
 利用部位：ア) 鱗茎、イ) 果実、ウ) 根、エ) 地上部、オ) 花蕾  
 適用：ア) 鎮咳去痰・鎮痛、イ) 強精、ウ) 疲労回復、エ) 鎮静、  
 オ) 咳・のどの痛み、カ) 鼻炎

解答欄

写真	植物名	科名	生薬名	利用部位	適用
1	イカリソウ	メギ科	ア	エ	イ
2	トロロアオイ	アオイ科	オ	ウ	オ
3	コブシ	モクレン科	ウ	オ	カ
4	ニンニク	ヒガンバナ科	イ	ア	ウ

問2 表に示した生薬について、その基原植物名を記入し、科名と適用については最適なものをそれぞれの用語欄から一つ選び記号で答えなさい。2点×5 1点×10 計20点

基原植物名	科名	生薬名	適用
クコ	ク	枸杞子(クコシ)	カ
ナツメ	カ	大棗(タイソウ)	エ
キハダ	オ	黄柏(オウバク)	ウ
ツリガネニンジン	ア	沙参(シャジン)	ア
メハジキ	ウ	益母草(ヤクモソウ)	イ

用語欄

科名：ア) キキョウ科、イ) キク科、ウ) シソ科、エ) スイカズラ科、  
 オ) ミカン科、カ) クロウメモドキ科、キ) マメ科、ク) ナス科  
 適用：ア) 鎮咳去痰、イ) 婦人用薬、ウ) 苦味健胃  
 エ) 精神安定、オ) 皮膚疾患、カ) 滋養強壯

問3 次の写真を見て、下記の文の〔 〕内に適語を記入しなさい。ただしA、B欄には用語欄から適語を一つ選び記号を記入しなさい。生薬名は漢字でもカタカナでもよい。 2点×4 1点×2 計10点

右の写真は〔 マメ 〕科に属する〔 クララ 〕の写真である。

本植物の利用部位は〔 根 〕で、それを調製した生薬は〔 苦参 〕と呼ばれる。本生薬は〔A オ 〕に用いられるが、毒性もあるため民間利用では服用を避け、〔B エ 〕などに限られる。



用語欄

- ア) 鎮咳去痰・強壯、イ) 清熱・解毒、ウ) 利胆、エ) 皮膚疾患、オ) 苦味健胃

問4 植物や生薬の確認には、含有成分の検出や検鏡による観察なども利用され、実習で行った。次の文は文頭の植物または生薬を使った実習内容の概要である。空欄の〔A 〕と〔B 〕には、それぞれ用語欄AおよびBから適語を一つ選び記入しなさい。

各1点 計10点

- 1 〔A ジャガイモ〕では、切片にヨウ素・ヨウ化カリウム試液を滴加して紫黒色に呈色することを確認した。これは含まれる〔B デンプン〕による。
- 2 〔A オウバク〕では、粉末に水を加えヌルヌル感を確認した。これは共通成分の〔B ベルベリン〕を含む生薬であるオウレンとの区別になる。
- 3 〔A ネギ〕では、顕微鏡を用い単晶を確認した。この単晶は〔B シュウ酸カルシウム〕によるものである。
- 4 〔A ナシ〕では、顕微鏡を用い、硬く肥厚した細胞を確認した。この細胞は〔B 石細胞〕と呼ばれる。
- 5 〔A キキョウ〕では、粉末に水を加え、激しくふり混ぜて持続性の微細な泡が生じることを確認した。これは成分の〔B サポニン〕による。

用語欄

A：ナシ、シャクヤク、オウバク、キキョウ、ジャガイモ、ネギ

B：サポニン、ルチン、ベルベリン、シュウ酸カルシウム、デンプン、石細胞